

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（平成30年度第11回）議事概要

日 時：平成31年2月26日（火）10:00～11:00

場 所：国立がん研究センター 管理棟 第1会議室

出席者：中釜斉理事長、松本洋一郎理事、北川雄光理事、小野高史監事、増田正志監事

欠席者：南砂理事、児玉安司理事、間野博行理事

I. 前回（平成30年度第10回）議事録の確認

- ・前回議事録について了承。
- ・議事録署名人を松本理事と増田監事に依頼。

II. 審議事項

1. 平成31年度計画（予算）の策定について

資料に沿って説明され、審議された。

【主な意見等】

- ・入院日数短縮については、どのように周りの病院と連携をとるかという課題があるのではないかと。患者の満足度、QOL、周りの病院を含めた総合的な観点を持って対応するということが必要になるのではないかと。
- ・QOLは非常に重要な視点。患者さんが高齢化する中で、在宅も含めた新しい地域医療の充実、そして後方連携の更なる強化を視野に入れて進めていきたい。

III. 報告事項

1. 患者・家族との意見交換会について

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・国立がん研究センターは患者さんの治療だけでなく、治療の開発に重点を置くべきというご指摘もあった。全体の運営を踏まえながら、これらの課題に取り組んでいきたい。

2. 10連休対応について

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・中央病院の対応体制に関しては地域への影響を考慮したものか。
- ・両院の対応の違いは、地域性や体制の違いによるもの。

3. 代謝（メタボローム）を標的とした新たながん治療法を発見

資料に沿って報告された。

4. 政府の会議の状況等

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・日本としての戦略がないままやっても厳しい現状がある。それに対して、NCとして合理的に機能するようなシステムを提案していくべきではないか。
- ・世界に伍していくためにデータを活用するための All Japan 体制をいかに構築するかを提案し、モデルを提示し、特にデータをいかに開発に活用していくか、そういう議論を深めていければと考えている。

5. 広報実績

資料に沿って報告された。

6. 投資委員会報告

資料に沿って報告された。

7. 1月分月次決算等

資料に沿って報告された。